

れるような行為は慎むほうが良い。



記載台

一般質問  
成谷 文彦  
(公明党)  
新しい公共施設と  
檀原市のあり方

**問** 本市の公共施設は、方向性としてコンパクト化を進めなければならず、これは共通認識だと思う。広義の意味でのコンパクトシティと、狭義として本市の進むべき方向性を聞きたい。  
**答** コンパクトシティは、一般的に都市的土地利用の郊

外への拡大を抑制すると同時に、中心市街地の活性化が図られた生活に必要な諸機能が近接した効率的で持続可能な都市のことである。これからは、人口減を前提としたまちづくりを進める必要がある。

本市では、公共交通沿線に住住を誘導するとともに、都市機能を集約する拠点間を結ぶ公共交通ネットワークの充実や、拠点エリア内における循環型の公共交通ネットワークの形成など、まちづくりと公共交通が連携した取り組みが必要と考える。

**問** 市長は、コンパクトシティについての様々な意見を持っていると。具体的なイメージや検討したいことは。  
**答** 30年前から、都市軸を宣言している。多極化のネットワークを持つ軸の幹を太くすることが、我々のまちの役割と思う。内閣府と一緒に取り組んでいる地域活性化モデル事業、飛鳥シティ・リージョンが具体的な形であり、その方向性で進めたい。

**問** FM（ファシリティマネジメント）のカルテ等は700項目あると聞くが、公共施設全体についての具体的なイ

メージや方針は。  
**答** 公共施設はたくさんあるが、必要性を踏まえ統廃合を含め方向性を議論したい。基本方針は作成中で、管理計画や最終基本計画は、来年の3月には提示したい。

**問** FMのカルテと公会計の整合性は正確にしてほしいと要望も出している。ただ、現状の公共施設を維持するには、今の経費では無理である。本市は、日本の人口の伸びより高い伸び率を想定し、公共施設を造ってきた経緯があり、施設の老朽化に伴う経費の伸び率も高いと思う。現状の公共施設を維持する上で、伸び率の想定は。  
**答** そこまで達していないが、今のままでは無理と認識している。既設の有効利用が大事であり維持修繕に力を注ぎながら、必要なものはつくる。施設などの統廃合や複合化も考えたい。

**問** 国の発表では、費用的に良好なところで1.1倍、平均は2.2〜2.6倍に上がると予測している。神奈川県秦野市では、新規の箱物は建設せず、40年かけ箱物を3割削減するという方針を出して

いる。これは極端なケースだが、方針を出せば方向性も出てくる。具体的には、金額ベースの削減か、公共施設の延べ面積での削減か、それともそれらトータル的な削減か、考えは。また、コンパクトシティとして示す方向は。  
**答** 数字は把握していないが、目標作成は大事と認識している。先進地は10〜20%を目標としている。面積は最低10%程度の減少を目指したい。公共施設の統廃合は市民の協力なしにはできない。議員の知恵も拝借し市民の協力を得ながらFMを進めたい。

**問** 面積的な目標値は、もう少し増やす必要があると思う。今一番、金額と面積ベースで問題なのは分庁舎の1,100坪である。また、現庁舎の土地建物、八木駅北駐車場の経費的な部分もある。固定資産台帳には、1,100坪は今の土地の評価で計算され7億4,263万円とあるが、八木駅南を開発したときの費用である取得価格を計算してもらいたい。この土地を確保するまでの費用の概算は。  
**答** 昭和63年に、ため池だったところを埋め立て約60億

で取得した。土地開発公社が取得したものを、換地等で減った土地に利息と管理費用を上乗せして約46億で市が買い戻した。今の固定資産台帳価格との差は約38億5,000万円である。

**問** 固定資産台帳で計上した場合、建物のホテル部分は15億円、分庁舎部分は約26億円とあって良いのか、金額は。  
**答** 目安の1つとして、奈良地方事務局管内の新築の建物課税標準額の平成24年度の算定基準表によると9万5,500円という単価が出ている。面積1万5,500平米のうち4,700平米をホテル部分とすると各自単価は計算できる。

**問** 八木駅北駐車場は、公園にするとか、別途駐車場をつくるので30億円必要となるなど聞くが、代替地や地中設置するなどを踏まえ30億円投資するののか。  
**答** その概算は、更地にする場合である。駐輪場は現在1,300台収容しており、市の責務と心得ている。地下となると費用は若干増える。駐車場に関する八木駅北の整備は、県の文化会館もあることから、